

第40回 独立行政法人国立印刷局契約監視委員会（審議概要）

開催日及び場所	令和6年12月18日（水） 国立印刷局本局特別会議室
出席委員	委員長 栗田 誠（千葉大学名誉教授） 委員 黒川 行治（一般財団法人産業経理協会会長、 慶應義塾大学名誉教授） 委員 村瀬 均（岡崎村瀬法律事務所弁護士） 委員 福島 晃（独立行政法人国立印刷局監事） 委員 三橋 浩（独立行政法人国立印刷局監事）
報告事項	官報製造に使用する「再生巻取用紙」の入札談合事案に係る現状について
審議対象	令和6年度上半期契約の点検 令和6年度上半期に契約締結した案件のうち、新規の競争性のない随意契約の点検（3件／うち個別審議案件3件）及び2か年度連続して応札者又は応募者が1者しかない契約の点検（27件／うち個別審議案件2件）（全30件／うち個別審議案件5件） 別紙1のとおり
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙2のとおり
委員会による意見の具申の内容	いずれの案件も了承され、意見の具申はなかった。

個別に審議した契約案件（5件）

【新規の競争性のない随意契約案件】

(1) 「ミシン糸 紫」

次世代旅券冊子の各構成部材を縫製する際に使用する原材料の購入

(2) 「エンボッシングプレートユニット」

次世代旅券冊子のデータページに表裏エンボス加工を施すため、専用の機械に装着する金属製の部品の購入

(3) 「ノンキャリア」

緊急旅券冊子に貼付する個人情報印字ラベルを構成するシール材料の購入

【2か年度連続して応札者又は応募者が1者しかない契約案件】

(4) 「水性ワイピング原液」

凹版印刷における余分なインキを拭き取ったワイピングローラを洗浄する際に使用するワイピング液の原料の一部の購入

(5) 「一般系編集システムデータ送受信用機器等の購入及び保守」

一般系編集システムで作成した製版データを編集部門と印刷部門間で送受信するための機器等の購入及び保守作業

意見・質問	回 答
令和 6 年度上半期契約の点検	
<p>(1) 「ミシン糸 紫」</p> <p>○ ミシン糸は何色もあるのか。また、購入数量の 760 巻は、何年分なのか。</p> <p>○ 当該ミシン糸は発光する機能を有するが、その部分が特殊であるのか。</p> <p>○ 技術審査以外に、他の業者が参入しない要因はあるのか。</p>	<p>○ 紫色の 1 色のみであり、1 年分の製造量に対応する数量となっている。</p> <p>○ 一般の市場において、発光する糸は存在する。 なお、当該ミシン糸が使用される製品の特性上、長期間に渡る耐久性や堅牢性が求められるため、特殊な部分は多々存在する。</p> <p>○ 1 年分の契約金額が 400 万円ほどであり、契約規模が小さいことから、仕様に合ったミシン糸を新規開発する業者が現れにくいものと考えられる。</p>
<p>(2) 「エンボッシングプレートユニット」</p> <p>○ 1 セットの耐久性は、どれくらいなのか。</p> <p>○ 購入数量の 5 セットの内訳は、どのようになっているのか。</p>	<p>○ 国立印刷局におけるロングランでの使用実績がないため、実製造の中で耐久性を確認するところであるが、他国での使用実績を踏まえ、半年ほどを見込んでいます。</p> <p>○ 機械 2 台に各 1 セットを装着し、半年後の交換用として各 1 セット、予備品として 1 セットの、合計 5 セットとなっている。</p>
<p>(3) 「ノンキャリア」</p> <p>○ 購入数量の 37 本は、何年分なのか。</p>	<p>○ 個人情報印字ラベルは新規の製品であり、顧客への納入分に対応する数量となっている。</p>
<p>(4) 「水性ワイピング原液」</p> <p>○ 技術審査に合格している他の 2 者も、水性ワイピング原液を供給できる体制になっているのか。また、品質上の問題はないのか。</p> <p>○ 落札者の会社規模は大きいのか。</p>	<p>○ 現在においても、供給できる体制となっている。また、技術審査に合格していることから、品質上の問題はない。</p> <p>○ 落札者は代理店であり会社規模は小さい。なお、製造メーカーは、売上高が 100 億円以上の会社である。</p>

	<p>(5)「一般系編集システムデータ送受信用機器等の購入及び保守」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機器購入において、予備品はあるのか。 ○ 閉じられたネットワークとなっているのか。 ○ 大手ITベンダーによる見積り不可の理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予備品はない。 ○ 設置されている機器の中で、閉じられたネットワークとなっており、外部から遮断されている。 ○ 大手ITベンダーは、設計開発をメインとしており、社内方針として、機器購入の見積りが難しいとの回答を得ている。
--	--	--